

平成29年度 学校関係者評価報告書

学校法人湘央学園
沖縄アカデミー専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人湘央学園 沖縄アカデミー専門学校 学校関係者評価委員会は「平成29年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて保護者、卒業生、業界関係者による学校関係者評価を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1．教育理念・目的・育成人材像

建学の精神、教育理念については、正面玄関、教室内等の掲示により、概ね周知されていると思われるが、保護者等への周知は、学校の行事や学園報等により今後も周知する必要がある。学生の育成は、学園の建学の精神、教育理念に基づき、専門職業人の育成に努めていることは評価できる。

2．学校運営

事業計画や運営方針は策定されており、目的に沿って実行されている。

入学生確保は学校運営の安定化では重要であり、今後の改善方策として、スマホ対応のHPやマスメディア等を活用した広報活動を行うと共に、今後も県や関係団体と連携し活動して行く必要があると考える。

3．教育活動

国家試験の導入に伴い、教育到達や学習効果等を検討し、カリキュラムの再構築が行われているので、今後も継続していただきたい。

同じ領域の学科目や他の領域の学科目との連携や学生の学科目習得の状況等に応じ、科目履修の時期等を再考・実施し、教育効果の向上に繋がるよう検証していることは評価できる。

4．学修成果

平成30年度から法改正がある同行援護従業者養成研修一般課程や福祉住環境コーディネーターの講習会を継続して取り組んでいることは評価できる。

年度における就職については、全員が就職へと繋がってはいるが、早い時期から意識するよう学生指導を行う必要がある。その改善方策として、就職に対する意識を高めるため、学校内での就職説明会を実施したことは、就職活動へと繋げることができ、今後も継続していただきたい。

5．学生支援

退学や休学等の対応については、その理由等や学生指導等について、再度検討する必要があると考えられる。

沖縄県介護福祉士等修学資金の継続や拡充等について、国や県に要望していることは評価でき、継続していただきたい。

卒業生への支援体制は十分とは言えず、同窓会との連携を深めることが必要であり、卒業後の動向を把握するために、コミュニケーションツール（LINE等）を構築したことは評価でき継続していただきたい。

6．教育環境

法令で定められている教育機器等は、整備されており問題はない。

教育環境の整備も学生募集において、大きな要素の1つであることから今後も計画的に改修計画の作成・実行が必要である。

7．学生の受入れ募集

高等学校等を3回程度訪問しており、進路担当教諭に対し情報提供の取組が行われている為適正と思われ、引き続き継続していただきたい。

入学定員の充足させるよう工夫が必要であり、今後の課題として広報活動の現状を分析し、有効となる媒体の導入やスマホ対応のホームページを活用することにより、気軽にアクセスできる環境にすることで学生募集に繋げていただきたい。

8．財務

入学生の確保は最重要課題であるため、より一層の工夫が継続し必要と思われる。

物品等の購入は、優先順位を考え予算執行していることや教職員が率先し、経費節減に務めていることは評価でき継続していただきたい。

9．法令等の遵守

学校に関わる報告等については、適切に遵守されている。

10．社会貢献・地域貢献

学生のボランティア活動をさらに活性化することにより、社会への貢献や教育効果の向上にも繋がると考えられるので、継続していただきたい。

11.その他

キャリアアップ等の観点から、学園内推薦制度を設けていることは評価できる。

待遇や介護の質等、学校に通うこと及び国家資格を取得するメリットを伝えていく取り組みをしていただきたい。

ビデオ教材が古い等の点について、施設が独自に作成している介護方法の動画等、職員同士で介護方法を撮影して、マニュアル化しているケースが多くあり、実際に現場で行っている技術を学べるという観点から、借用して学生に見せる等の取り組みを検討していただきたい。